6 農協・農事組合懇談会 ご意見と回答
10 令和５年度 役員海外視察研修報告
11 トピックス 人間ドック予約状況表
12 来月のカレンダー

謹賀新年

# 大雪清流 てっぺんだより

JA Higashikawa Public relations magazine Daisetsu Seiryu Teppen Dayori

特集：年頭のご挨拶

みずと くらす。 JAひがしかわ

1 2024
vol.605

# 令和6年の年頭ご挨拶

東川町農業協同組合
代表理事組合長
牧　清隆（まき　きよたか）

新年あましておめでとうございます。

組合員の皆様には、ご家族お揃いで輝かしい令和6年の新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

日頃より当組合の事業運営に対して、特段のご理解とご協力を賜り役職員一同、心よりお礼と感謝を申し上げます。

昨年の農産物の生産環境を振り返りますと、水稲は、草丈・茎数ともに平年並みで生育したものの、農林水産統計で示された上川管内の作況指数「105」までの収穫量は見込めず、度重なる高温と強風による倒伏被害の発生により、タンパク値や品質面では近年にない厳しい出来秋となりました。

このような状況の中で、等級品の集荷実績は契約対比97％、特定米穀・屑米を含めた実績では100.9％となり、組合員皆様の農協事業利用への結集と契約数量堅持に努めていただき、改めて感謝を申し上げます。

青果物でも、春先から産地の切り替わりが順調に進み、多くの品目では安定した市況価格で推移したものの、昼夜の高温、大雨や強風の影響等により、青果物全般で生育障害や病害虫の被害が多発し、収量・品質の低下を招き、さらに生産資材価格の高騰との二重苦により、農業経営にとっては大変厳しい一年でした。

こうした状況を踏まえ、組合員の農業経営継続を最優先に考え、当組合独自に「農産物の収量・品質被害と生産費高騰に対する特別支援金」給付や経営相談窓口の機能強化、肥料価格高騰への支援要請活動などを進めて参りました。

農業を取り巻く環境は依然として厳しい状況下であり、消費減退や燃料の高止まり、原材料価格の高騰など、農業経営に与える影響は甚大なものとなっています。一方、世界の食料事情は一変し、各国における食料安全保障と食料自給率に対する議論は高まっており、農業生産現場に期待される役割は今後ますます大きくなっていくと思われ、こうした難しい時代の中、組合員の皆様と役職員が一丸となってこの難局を乗り越えてまいりたいと考えております。

昨年9月に「ひがしかわライスターミナル」第一期工事の建築確認申請の許可が下り、無事工事を開始しましたが、工事全体の工程は順調に進んでおり、本年3月末の完成に向けて作業を進めております。現在、新たな「東川米品質管理棟（農産物検査所）」の建設や第二期工事への申請手続き、精米HACCP取得準備などを着実に進めております。

また、11月には、当時の宮下一郎農林水産大臣が当組合へお越しいただき、「ひがしかわアグリ2050宣言」概要説明や「ひがしかわライスターミナル」建設現場視察、輸出用米・資源米など「東川米の販売戦略」などの意見交換を行いました。当組合の歴史において、現職大臣の視察は初めての事であり、直接大臣より当組合の事業活動や東川産農産物に対し、高い評価と激励のお言葉をいただきました。組合員、役職員にとっては大変な名誉な事であり、今後の事業運営の励みとなりました。

本年は、次期「東川町地域農業振興計画」「JA中期経営計画」の策定年であり、「ひがしかわアグリ2050宣言」の実践や国連が提唱する「SDGs」賛同のもと、持続可能な東川農業の実現を目指し、$CO_2$ゼロエミッション化やスマート農業の推進、水稲の持続的生産体制の構築など、これからも組合員の皆様との対話を進めながら、魅力ある事業活動を展開して参ります。

政府は、「食料・農業・農村基本法」の改正を目指していますが、農業者人口の減少や農業・農協を取り巻く情勢は急速に変化するなか、当組合は時代の先頭に立ち、常に新たな挑戦を続けていくため、今後とも自己資本造成計画の実行については、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、本年は天候に恵まれ、災害もなく、豊穣の秋を迎える事が出来ますよう、併せて組合員とご家族の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



# 令和6年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会
代表理事会長
樽井　功（たるい　いさお）

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。

また、組合員・役職員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対しまして、改めて敬意と感謝を申し上げる次第であります。

昨年の北海道農業については、春先は天候に恵まれ地域によって降雹被害や竜巻の被害が見られたものの、概ね、平年並みに推移しておりました。しかしながら夏場は猛暑による記録的な高温多湿の影響を大きく受け、各作物の生育自体は、全般的に平年よりも早く進んできましたが、各作物等の収量および品質の低下が顕著となる残念な年でした。

新型コロナウィルス感染症の位置付けは昨年5月より5類に移行し、コロナ禍以前の日常を取り戻しつつありますが、各農畜産物の消費は依然として低迷しており、さらに、国際紛争や急激な円安の進行による飼料・肥料をはじめとした生産資材の高止まりが、農業経営に与える影響は甚大なものとなっています。

さらにこれらの影響を受け、世界の食料需給事情が一変しました。輸出制限を行い、自国の食料を確保する各国の動きが活発化し、世界的な人口増加による食料不足問題など食料争奪合戦がすでに始まっています。我が国の食料を安定的にどう確保するのか。今こそ大いに食料安全保障の国民的議論が必要となっています。

現在、日本の食料自給率は38％しかありません。

これは、世界の先進国の中で最低の水準であり、6割以上の食べ物を輸入に頼っているのが日本の現状です。

食料安全保障の強化が国家の喫緊の課題であることから、我が国の食料供給基地である北海道農業が果たしてきた役割、そして北海道農業への期待は、今後ますます大きくなるものと考えております。

JAグループ北海道は、日本の食料基地であるという使命感に立ち、食料の安定生産・安定供給と農畜産物の需要拡大を両輪として引き続き取り組むことが重要であり、国民の命の源である食を守り続けるにも、まさに新しい農業を築き、未来の世代へ繋いでいく必要があり、行政や全国連とも連携し、しっかりとその対応を図って参ります。

今年は、第31回JA北海道大会が開催されます。

また、第30回JA北海道大会の実践最終年度であり、決議された将来ビジョンである、「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある地域社会』の達成」の成果をしっかりと検証し、次のJA北海道大会に繋げていく必要があります。

このような状況であるからこそ、協同組合運動の原点に立ち返り、相互扶助の精神に基づき互いに協力し、力を合わせこの難局を乗り越えることが重要となります。

消費者の皆様に対しては、今まで以上に農業・食に対する理解を求めるため、JAグループ北海道統一の情報発信のフレーズである「アグリアクション北海道」を浸透させ、より効果的な情報発信を行い、JAグループが提唱する「国消国産」の認知を広めて参りましょう。

結びになりますが、本年は辰年です。辰年は陽の気が動いて万物が振動するので、活力旺盛になって大きく成長し、形がととのう年だといわれています。

この謂われにあやかり、本年が豊穣の年となること、皆様のご健勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

# 年頭のご挨拶

東川町稲作研究会
会長
## 板谷（いたや）　智徳（ともひと）

新年、あけましておめでとうございます。

会員皆さまにおかれましては2024年の良き新春をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。

また、旧年中は稲作研究会事業に対しまして、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年の水稲では、北海道の作況指数「104」、当上川管内においては「105」となりました。大きな自然災害のない気象状況ではありましたが、7月下旬以降の30℃を超える高温が影響し、腹白、乳白、やせ等の未熟粒が大量に発生したことや、暴風雨による倒伏、9月上旬以降の悪天候による刈遅れもあり、JA契約数量185、741俵に対し、集荷実績につきましては180、147俵（契約対比97.0％）、JA出荷割合全体に占める7.4％以下の割合が49.1％と水稲生産においては苦労した一年でした。

しかし、このような状況の中でも、低タンパク米生産実績もあり、「ゆめぴりか」につきましては全量玄米センター調整のもと、北海道一の実績となる基準品（7.4％以下）割合97.3％の実績を確保することができ、これも一重に会員皆さまのご尽力の賜物と重ねて御礼申し上げます。

現在、コメを取り巻く環境はコロナウイルスの感染状況も落ち着き、主食用米深堀による成果や中食・外食産業・インバウンド需要の回復から、約3年間続いた在庫過多も解消されていき、需給の均衡から大幅な下落が続いていた米価（市中相場）については回復の傾向が見られています。東川町の水稲生産基盤を維持し、6年産米についても引き続きJAと連携のうえ、需要に則した用途別面積の作付を行っていきたいと考えておりますので、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、昨年9月より「ひがしかわライスターミナル（精米工場・米穀乾燥調製貯蔵施設）」の建設工事が着工され、令和6年6月より精米工場稼働、令和7年産米より「ひがしかわライスターミナル」への籾出荷・運営が開始される予定となっておりますが、農業所得安定確保に寄与する施設として稼働開始年より会員皆さまのご利用をいただけますと幸甚に存じます。

結びとなりますが、当研究会では皆さまの営農活動の一助となるべく、生産費用高騰下における低コスト化や高品質米生産技術の普及に向けた実証試験等を普及センター、関係機関のご指導ご協力を頂き、消費者・需要者に求められる産地として、安定した収量・品質の確保ならびに多岐にわたる有効的な情報発信に努めて参りますので、引き続き会員皆さまからのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げるとともに、本年が実り多き年になりますようお祈り申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。

東川町蔬菜園芸研究会
会長
## 松家（まつか）　孝志（たかし）

新年、明けましておめでとうございます。会員皆様にはご家族お揃いで新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、旧年中は当研究会活動に格別なご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年前半は、比較的安定した天候に恵まれたものの、7月以降の高温・多雨、8月中旬以降は記録的な猛暑と最低気温の上昇により、ブロッコリーでは黒すす病が蔓延し、スイートコーンの品質劣化、トマト類の花落ち等、各品目とも天候要因による収量減少並びに品質低下を防ぐことはできませんでした。全国的な猛暑の影響により各品目とも品薄が続き、9月以降の市場相場は過去にないほどの高値基調で推移し、ピーマン・露地長葱については、生産量が減少する中でも販売額の昨年対比は、ピーマン116％、露地長葱131％と生産努力が報われる結果となりました。

昨今、地球温暖化による異常気象発生頻度が高くなり、生産現場では高温対策を始めとし、高温作物への転換や品種並びに作型の変更等、早期に検討することが必要になってきます。各関係機関と連携しながら種苗から販売までの有益な情報を提供できるように迅速に取り進めます。また、毎年の生産資材等の高騰・人件費の負担増により生産者の所得確保が厳しくなる中、再度生産効率を見直し、無理・無駄のない生産の構築、より効率的な集荷・販売の実践が必要不可欠になります。取引先には価格転嫁要請を継続するとともに、物量確保に向けた品目集約による物流メリットを図ることも念頭に置きながら進めていきたいと思います。

令和6年度は蔬菜園芸研究会が設立し50周年という節目の年を迎えます。減反政策の煽りを受け、本町でも野菜生産・野菜振興が行われてきました。時代変化とともに栽培する品目も変わり現在に至っております。当時の諸先輩方の苦労と努力が東川野菜の礎となっております。昔話に花を添え、また若い世代に叱咤激励をいただけますよう、本年11月に記念式典・祝賀会の開催を予定しておりますので、多くの会員皆様と歴代役員皆様のご臨席を賜りますようお願い申し上げます。

厳しい情勢の中でも、令和5年度始めに東川町より肥料・燃料高騰支援、12月にはJAより特別支援金及び農業経営緊急支援資金等、ご配慮いただき各関係機関には心より感謝とお礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

本年も会員皆様が野菜生産に取組んでいただけるように研究会を始め各部会が組織強化を図るとともに、各取引先と会員皆様のパイプ役となるように日々研鑽して参ります。今後とも皆様には今まで以上のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げるとともに、本年も皆様にとって実り多き素晴らしい年になりますよう心からお祈り申し上げ新年のご挨拶と致します。



# 年頭のご挨拶

JAひがしかわ青年部
部長
## 古髙（ふるたか）　良記（よしき）

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

旧年中は組合員ご家族、JAひがしかわを初め各関係機関の皆様方に、青年部活動に対しまして多くのご理解ご協力、ご助言を頂き誠にありがとうございます。

昨年を振り返りますと春先は天候に恵まれ農作業、作物の生育は順調に推移しましたが8月の強風や連日の高温により農作物の倒状や病害虫の大量発生など一筋縄ではいかない非常に厳しい一年となりました。また、ロシア、ウクライナの戦争の影響による農薬、燃料、生産資材の価格高騰など世界情勢はもちろん、農政も目まぐるしく変化を続けております。

青年部活動におかれましては新型コロナウイルスが5類へ引き下げられたことで行動制限が緩和されたため、活動できる内容が増えましたが全体会議については前年度同様、ZOOMを活用しどこでも会議に参加することの出来る環境づくりに努めました。

営農研究活動では今一度原点に戻り基礎知識を学びなおすために、肥料成分の働きについて、農薬の効果的な使用方法についての基礎的な学習会を2回開催いたしました。

道内研修については新型コロナウイルスの影響をうけて5年ぶりの開催となった「国際農業機械展in帯広」を視察いたしました。会場ではスマート農業に関する出展がとても多く、GPSを活用した自動操舵はもちろん無人で動くロボットトラクターや田植機、コンバイン等が多数展示してあり労働力の軽減や人件費の削減に繋がるものが多くみられました。視察後はJAたいせつ青年部・JA芽室青年部との懇親会を開催し、他地域の盟友と交流できた非常に有意義な時間となりました。

また、行動制限の緩和に伴い6年ぶりにキャラバン隊事業を復活させることが出来ました。キャラバン隊事業ではコープさっぽろソシア店へ販売促進を実施いたしました。消費者との交流は久しぶりで、多くの消費者から応援の言葉等を頂きました。改めて多くの方が東川農産物を購入していることを実感するとともに、これからも高品質な東川農産物を生産し続けていかなければならないと感じました。青年部員の今後の営農に対するモチベーションを上げることができた良い機会となりました。

青年部事業のほかに昨年は東川町商工会青年部と交流する場を設け親交を深めました。同じ地元に住んでいながらもお互いがどのような活動をしているのか把握していませんでしたが、JAひがしかわ青年部・商工会青年部の事業へ互いに参加しあうことにより、お互いの事業への理解を深めることができました。今後も東川町商工会青年部との交流を継続して参ります。

ひがしかわライスターミナルの精米工場の建設も開始され勢いのある東川農業だと思いますが、今後も諸先輩方が築き上げてきた東川農業と青年部の更なる発展を目指し部員の結束力を高め、東川町と東川農業を盛り上げていきたいと思います。

最後になりますが、本年も諸先輩の方々、各関係機関皆様のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げますとともに、青年部員そして各組合員皆様の今年1年のご健勝とご多幸を祈念し、年頭の挨拶とさせて頂きます。

JAひがしかわ女性部
部長
## 津谷（つや）　千代子（ちよこ）

新年、あけましておめでとうございます。皆様におかれましては健やかに新年を迎えられた事と心よりお慶び申し上げます。

また、旧年中は、女性部活動に対しましてご理解とご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症も5類に移行し、当女性部の活動もコロナ禍以前に近い形で行うことが出来ました。特に4年ぶりに女性部員が町内の小学校へ出向き行われた食育活動や学童児童のおやつづくりでは、地元農産物を通じて、子供達へ東川農業や食べることの楽しさを知ってもらいながら、改めて「食の大切さ」を伝えることが出来た充実した活動となりました。地元農産物を使って作られた給食やおやつをおいしそうに食べる子供達の姿はわたしたち女性部員にとっても、先行きの見えない昨今の農業情勢において大変励みになるものでした。

現在、上川管内の女性部は10年前の18組織から12組織まで減少し、部員数も大幅に減少しており、高齢化とそれに伴う部員数の減少という大きな課題を抱えていますが、当女性部としては、JA事業、町民を対象とした地域貢献活動など多岐にわたる活動を展開しながら、この課題解決に向け、今後とも「楽しそう！参加してみたい！」と思って頂ける事業を部員一丸となり創り上げていきたいと思います。組合員の皆様、町民の皆様には本年もご理解とご協力の程宜しくお願いいたします。

本年も健康で楽しく素晴らしい年になりますよう心からお祈り申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。

# 農協・農事組合懇談会　ご意見と回答

日時…令和5年11月29日(水)・11月30日(木)

貴重なご意見ありがとうございました。今後の事業運営に反映させて参ります。

## ◎営農指導課

**【意見】TAC担当者の知識差がある為に組合員からの育成支援やTAC担当者の勉強会を開催するなどの対応も考えて頂きたい。**

【回答】TAC担当者の事前学習会は定期的に開催しております。担当者のスキルアップに向けては、引き続き研鑽を積んで参ります。

**【意見】担当職員が不在でJAコネクトからの防除予察報告が滞っていた。担当者以外の職員でも対応できるようにしてほしい。**

【回答】業務に必要な情報・技術を課内で共有させ、適切な対応が出来るように努めて参ります。

**【意見】次期振興計画の水稲作業支援は「春作業のみ」とあるが、1年を通したコントラ事業の強化を考えているのか。**

**【意見】次期振興計画の「水稲移植作業支援」は、規模拡大に繋がる為、是非進めて欲しい。**

**【意見】次期振興計画で「水稲作業研修」とあるが、具体的な取組を教えて欲しい。**

【回答】新たに設定しました「水稲作業支援」とは、水稲作付面積の拡大を要件とし、稲作で一番労働力を要す春作業の育苗・耕起・代かき・田植などを一括して農業振興公社が請負う事業です。公社および稲作研究会の役員にご協力いただき、令和6年から2ヵ年、公社職員2名のオペレーター研修を実施いたします。併せて需要調査・自動省力機械導入のもと、令和8年より水稲作業支援事業を開始します。

**【意見】次期振興計画の新規参入者支援体制の整備で「就農施設建設」とあるが、施設建設計画には現在の新規参入者からの意見も取り入れて欲しい。**

【回答】既存の新規参入者のご意見を取り入れ建設計画を進めて参ります。

**【意見】公社による作業支援で「春作業」だけではなく、緊急対応のサポートもしっかり考えて頂きたい。**

【回答】突発的な事故による怪我や病気により、緊急的に農作業が出来なくなった際のサポート事業として、JA・公社や生産部会協力による支援体制（米つくり隊、野菜つくり隊）を整備しています。何かございましたら窓口である営農指導課、またはTAC担当職員へご連絡ください。

**【意見】今秋にJAから寄贈された「金賞健康米ゆめぴりか」が学校給食で供給され、おかわりする子供達が多かったと自分の子供から聞き、米を作って良かったと思った。そういう声や反響はJAに伝わっているのか。**

【回答】学校給食に使用する「東川米」や「ひがしかわサラダ」は定期的に提供しています。現在、女性部が中心となり、小学校や学童への食育活動を実施しており、感謝を含め、様々な意見や感想を東川町や小学校より頂いております。食育活動の内容は「てっぺんだより」でもご紹介しておりますのでご覧ください。

また、現在、「東川米」をテーマとした小学生のポスター作品をJA2階ホールにて展示しておりますので、お気軽にご覧ください。

**【意見】農業生産において労働力が必要となる為、人材派遣を依頼したが、休憩時間にも労賃が発生する事や労働時間に縛りがある為、農業生産に合わせた採算コストに見合った仲介対応を願いたい。**

【回答】次年度より、派遣企業を紹介する際、密に労働条件等の取り決めを行いながら、しっかりとした事前説明を実施して参ります。



## ◎営農指導課・経営指導室・金融課

**【意見】農業経営者として、経営知識の向上に繋がるセミナーを実施して欲しい。**

【回答】担い手農業者を中心に各種要望を伺いながら、農業経営に必要となる基礎知識、また一段階上の農業経営改善セミナーを開催して参ります。

## ◎営農指導課・資材課

**【意見】次期振興計画において「籾殻くん炭施設」を新たに建設するのか。**

【回答】JAで施設を建設する予定はありませんが、今後JAで発生する籾殻について、町内の製造会社との連携のもと、土づくりへの有効活用や資源循環活動を目指し、取組みを進めていきます。

## ◎米穀課

**【意見】輸出用米の価格と輸出数量は今後どうなるのか。**

**【意見】輸出米に関して、輸出状況と評価を教えて欲しい。**

【回答】「輸出事業計画」では、2025年（令和7年）までに1、000トン以上の輸出目標を掲げ、新規販路開拓ならびに輸出品目拡大に向けた取り進めを行っております。輸出用米の取引価格は輸出先ごとに異なりますが、国・道・地域枠による交付金制度の有効活用により、優位性のある収入目標（10aあたり）を設定の上、生産者の所得拡大を図って参ります。

また、本年度では東川米・加工品を合わせ計9か国に440トンの輸出を行っており、主要輸出先である香港企業からは東川米への高い品質評価から次年度以降も継続的な取引と数量の拡大について要請を受けております。

**【意見】精米事業が開始され、今後は東川産農産物を食べて貰うためには、道草館やアンテナショップなどで町民以外の方に農産物を食べて貰う機会を増やす事が大事と考えている。**

**また、女性部活動の「もぎたて市」の有効活用や食育活動を通じて部員増員につなげて欲しい。**

【回答】精米事業開始後は、直売所（アンテナショップ）の整備や商工会や飲食店と連携した地元農産物の消費拡大に向けた活動を継続的に実施いたします。また、女性部との連携により、食育活動や新レシピの開発等、東川農産物の魅力を町内外へ発信する活動を実践し、東川農産物全般のさらなるブランド化に向けた取組を強化して参ります。

**【意見】「ひがしかわライスターミナル」で生産者個人の精米をすることは可能なのか。**

【回答】「ひがしかわライスターミナル」は利用するすべての籾・お米が集約され、同一規格の調整品となる事から個人ごとに精米することはできません。また、個別精米については、引き続きJAスタンドの精米機をご利用ください。

**【意見】酒米は令和6年以降も栽培面積を拡大予定ですか。**

【回答】本町の酒造好適米のほとんどは三千櫻酒造㈱の要望に応じ、作付面積を決定しております。一部はJAのプライベートブランドで輸出用にも使用され、今後の需要によっては更なる作付面積の増加も予想されます。

**【意見】地産地消に関して、宅配事業で「東川農産物宅配専用車両導入」とあるが、どのような事業を考えているのか。また、定期定量配送は可能なのか。例えば飲食店に応じて葱の場合は、規格外品の方が需要（刻み葱での提供可能）があったりすると思う。規格外品の取扱い拡大も検討して欲しい。**

【回答】来年度以降、町民・町内事業者（飲食店）への東川農産物宅配事業を計画しており、行政とも連携の上、地産地消をさらに推進して参ります。

また、消費者や実需者のニーズに合わせた商品形態や供給規格についても需要調査を行い、東川農産物の消費拡大に寄与する事業を展開いたします。

**【意見】水稲において出荷契約数量を下回る収量であったが、違約金は発生するのか。**

**また、契約数量は北海道の基準収量を使用しなければならないのか。**

【回答】通常は契約数量から5％分を減算した数量で設定しておりますが、本年度は全体の出荷実績が契約数量の96.5％であったことから、3.5％分の数量をさらに減算した88.5％までの緩和措置を実施しています。また、北海道が定める基準反収を用いて本町の「生産の目安（作付面積）」が設定されることから、基準反収を基本とした設定にご理解ください。

## ◎青果課

**【意見】今年は露地長葱が例年より収益として残った。米が収量不足・品質低下した中、長葱をやっていて良かった。青果職員の対応や資材課もＦＧなど安定した価格で供給していただき感謝したい。**

【回答】今年度は長葱部会のご協力のもと、集荷場での各週ミーティングによる計画出荷により相対取引を中心に有利販売することができました。露地長葱の出荷量・取扱高は、前年を上回る実績となりました。有利販売に努めた事で、長葱生産者にとって良い実績が残せる結果となり、感謝のご意見を頂きましてありがとうございます。さらに生産者の為に励んで参ります。

## ◎経理課

**【意見】青果物の経理遅れについては、取引先や出荷規格の集約等を実施し、効率的に進めて欲しい。また、JA、生産者で協議を重ね良い方向に向かうように願いたい。**

【回答】取引先や出荷規格の集約については、蔬菜園芸研究会ならびに各部会と協議の上、生産者の収益性確保と精算業務の改善に向けて進めて参ります。

## ◎資材課

**【意見】水管理システムとして「ファーモ」を使用したが、不具合が生じた際に資材課に連絡すると、メーカーに問い合わせしてからの回答だったのでタイムラグが生じた。迅速に対応できるようにして欲しい。**

【回答】「ファーモ」は、大型圃場での導入が増加しております。担当職員の知識向上に努め迅速に対応できるよう努めます。

## ◎機械燃料課

**【意見】令和5年1月までは旧整備工場の洗車場が利用できたが、今後も利用解放を検討して下さい。**

【回答】旧整備工場の電気契約を変更しているので、今後は利用することができません。また、洗車機のご相談は機械燃料課にてお受けしております。

**【意見】数年前まで実施していた農業機械実習制度は続いているのか。自分も10数年前に研修を受け、今の農業経営に役立っているので復活できるのであれば検討してください。**

【回答】北海道クボタ営業所の移転により農業機械実習は廃止されました。今後、農業機械実習の要望があればメーカーと協議・検討いたしますので、機械燃料課までご相談ください。

## ◎国営推進センター

**【意見】国営事業で東川地区以外の状況について教えて欲しい。**

【回答】愛別地区では、山間に石狩川・国道・高規格道路・線路などが縦横断しており、東川町とは地形や自然条件が違います。4ha規模の大型水田も有していることから今後も他地区の取り組みなどを定期的に発信して参ります。

**【意見】毎年、礫や石を拾っているが、拾いきれずに農業機械が破損し修理費の支出もあった。振興作物を作付けしながら、礫や石を拾うのは大変である。これからも礫や石を拾い続けた場合、水稲の作付け意欲低下を防止する為に徐礫対策委員会の組織を設立などの対策を考えて欲しい。**

【回答】国が定めた徐礫工実施の可否は含礫率が10％を超えた場合となっております。

除礫作業に関する助成措置は東川町恵みの田園づくり支援事業で実施しているとともに、東川農業振興公社ではストーンピッカーを導入し作業受託を実施しておりますのでご活用ください。今後は個人で機械を導入している方へ受託作業等に就いても検討して参ります。



## ◎管理部

**【意見】農林水産大臣が東川町に来町された理由について教えて欲しい。**

【回答】東川米の輸出目標を掲げ、輸出拡大の取り組みを行ってきましたので、その結果、北海道農政事務所を通じ大臣視察の依頼がありました。現職の農水相来所は初めての事で光栄なことでありました。

**【意見】正組合員と准組合員の規程の違いとは。また、正組合員のメリットは何があるのか。**

【回答】正組合員の基準は農業に従事している必要があり、准組合員の基準は町内に在住もしくは勤務をしている方やＪＡ事業を定期的に利用されている方が准組合員となります。ＪＡ経営に参画された正組合員は、事業利用に応じて配当金が支払われております。

**【意見】准組合員を確保する方向性は理解できるが、正組合員を増加させる対策も検討するべきでないか。また、経営移譲した場合は、必然的に准組合員となるのか。**

【回答】正組合員の確保は必要ですが、農業に従事する事が条件となります。新規就農者および農業に従事する正組合員家族も正組合員資格を有しています。今後は、資格を有している方に対しての加入をお願いして参ります。

経営移譲されても農業に従事し続ける方は、准組合員でなく正組合員の資格となります。

**【意見】女性職員の身だしなみについて、上司から厳しく指摘されていると聞き、組合員等が不快に思わない程度であれば、問題ないと感じている。第一印象も重要だが、職員のモチベーション向上によって笑顔が増え、組合員等へ高い対応力が期待でき、顧客満足度にも繋がると考えている。**

【回答】総合事業である為、社会人の最低限のマナーとしての身だしなみは必要ではありますが、今後も職員のモチベーション向上を含め人材育成に取り組んで参ります。

**【意見】ＪＡ職員に対して、1年間に1週間の職場離脱があるが肝心な時に担当職員が不在などの不都合も発生している。職場離脱の意味について教えて頂きたい。**

【回答】職場離脱の目的は、「不祥事未然防止」を目的として、ＪＡグループ全体で取組んでいる制度となります。担当者の不在時でも適切な対応ができるように努めて参ります。

**【意見】冬場の懇談会開催時間は、日中に開催して頂きたい。**

【回答】次回、開催する際は、時間帯など事前に確認させて頂き、多くの皆様が出席できるように努めます。

**【意見】次年度以降の「ふれあい祭り」開催方針が決まりましたら早く内容を周知してほしい。**

**【意見】「ふれあい祭り」に参加したが、混雑により食事が出来なかった為、次回開催時には改善を願いたい。**

**【意見】「ふれあい祭り」で、くじ引きが人気で早い時間に終了していた為に、子ども達がもっと遊べる場を作って欲しい。また、今年は特に暑かったので、かき氷とかあれば良かったと思う。**

【回答】今回の「ふれあい祭り」には1、000人以上のご来場を頂き、盛会のうちに終了することが出来ました。次年度の開催については、関係者皆様のご意見をお聞きしながら、多くの組合員に喜んでいただけるよう、開催時期やイベント内容を検討して参ります。

**【意見】青年部室に灯油ストーブ設置してもらえたが、灯油の手配について教えて頂きたい。**

【回答】新しい青年部室の改修工事は終了していますが、燃料等の手配は青年部事務局・営農指導課にご連絡ください。

**【意見】他ＪＡにおいて合併協議がされていると聞くが当ＪＡも合併協議はされているのか。**

【回答】当ＪＡは合併検討協議には参加しておりません。本件に関する情報が入り次第お知らせします。

# 令和5年度　役員海外視察研修報告

11月25日（土）～28日（火）、宮下前農林水産大臣にも御視察いただきました東川米の輸出事業の取り組みの中で、海外輸出の主要取引先である中華人民共和国香港特別区に本社があります百農社国際有限公社（以下、百農社）を視察いたしました。

令和5年度は、9カ国へ「東川米ななつぼし」440.16ﾄﾝの輸出を計画し、今回の視察である先香港の百農社には全体の約70％である306ﾄﾝの輸出を計画、令和7年度には1,020ﾄﾝまで拡大することを計画しています。

視察には、輸出事業の仲介を依頼しているホクレン米穀事業本部パールライス販売課 山田洋己主幹、（株）ホクレン通商食料物質部 荒井秀之部長も同行し、百農社の林　暁恩首席營運官と周　虹高級採購及産品發經理の案内で百農社の香港金融ビジネス街にある、新ブランド店舗「OMUBI」、地下鉄駅構内「華御結」、ビジネスオフィスに隣接するショッピングモール店舗「OMSUBI」の3店舗と、百農社本社を視察いたしました。

視察後には意見交換が行われ、「百農社を起業したのは、「OMUSUBI」を通じた社会貢献であり、農業の発展に貢献することが社是であり、各店舗でも商品管理を徹底し、廃棄率0％を目標とすることで農業者の思いをお客様に伝えることも大切にしている」「現在140店舗を運営しているが、今後は中国本土、東南アジアを中心に無人店舗（自動販売機）を含め10,000店舗を目指している」との説明がありました。当JAからは、東川町の農業及び東川米のPR動画を使用した説明を行い、東川産ななつぼしの「OMUSUBI」を社員と試食し「非常においしい」との評価をいただきました。

百農社の社員は、「百農社の理念である「OMUSUBI」を通じ農業の発展に寄与する」「社会貢献を積極的に行う」この基本理念が全社員に浸透していることが質疑の中に見て取れました。

今回の役員海外視察研修では消費顧客の動向、商品を扱う会社及び社員の雰囲気を直に感じることができた研修となりました。

百農社と当 JA 役員集合写真

東川産ななつぼし「OMUSUBI」試食会



JA HIGASHIKAWA Topics

## ひがしかわライスターミナル建設状況報告

12月7日（木）現在、精米工場の土間工事作業、また乾燥機棟の鉄骨工事作業が行われています。本年度は積雪が少なく建設工事全体を通じて大きな遅れは発生しておりません。引き続き、定期的に建設工事進捗状況も含めた関係機関との定例会議を開催しながら、令和6年3月末の完成に向け作業が進められます。

## JAひがしかわ女性部「学童児童おやつ作り」

12月13日（水）、地域交流センターにてJAひがしかわ女性部による学童児童おやつ作りが行われました。

今回のメニューは、学校田の水田で栽培された“きたくりん”を使用した「おにぎり」です。

東川の米と水を使用し、ひとつひとつ丁寧に握られた「おにぎり」に子供達も「美味しい」と喜んでいました。

## 早期発見、早期治療のために 人間ドックを受診しましょう！

ご家族、大切な方のために、そして何よりご自身のために受診をおすすめします。

■旭川厚生病院「人間ドック」予約状況

**2024年2月**

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 1 ○ | 2 △ | 3 × |
| 4 × | 5 ○ | 6 ○ | 7 ○ | 8 ○ | 9 ○ | 10 × |
| 11 × | 12 × | 13 ○ | 14 ○ | 15 ○ | 16 ○ | 17 ○ |
| 18 × | 19 ○ | 20 ○ | 21 ○ | 22 ○ | 23 × | 24 × |
| 25 × | 26 ○ | 27 ○ | 28 ○ | 29 ○ | | |

**2024年3月**

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 1 ○ | 2 × |
| 3 × | 4 ○ | 5 ○ | 6 ○ | 7 ○ | 8 ○ | 9 ○ |
| 10 × | 11 ○ | 12 ○ | 13 ○ | 14 ○ | 15 ○ | 16 × |
| 17 × | 18 ○ | 19 ○ | 20 × | 21 ○ | 22 ○ | 23 × |
| 24 × | 25 ○ | 26 ○ | 27 ○ | 28 ○ | 29 ○ | 30 ○ |
| 31 × | | | | | | |

正組合員（本人・同居家族）
准組合員限定

**人間ドック検診費用助成**

厚生病院での一般受診料金
44,000円が
**31,900円に！**
※オプション検査は助成対象外

男性：月曜日・水曜日・金曜日、女性：火曜日・木曜日

予約表の見方：○10名以上の空き　△残りわずか　×予約が埋まっています

お申込み順となるためご希望日が埋まっている場合もございます。

人間ドックの申し込みや、お問い合わせは営農指導課（TEL82-2124）まで

※年末年始の営業時間は、てっぺんだより12月号をご覧ください

## 2024年 1月の予定

| | | |
|---|---|---|
| 1 | 月 | |
| 2 | 火 | |
| 3 | 水 | |
| 4 | 木 | |
| 5 | 金 | 5の付く日（スタンド店頭ガソリン・軽油5円引き） |
| 6 | 土 | |
| 7 | 日 | |
| 8 | 月 | 成人の日 |
| 9 | 火 | JA事務所・資材店舗仕事始め |
| 10 | 水 | |
| 11 | 木 | |
| 12 | 金 | |
| 13 | 土 | |
| 14 | 日 | |
| 15 | 月 | 5の付く日（スタンド店頭ガソリン・軽油5円引き） |
| 16 | 火 | |
| 17 | 水 | |
| 18 | 木 | |
| 19 | 金 | |
| 20 | 土 | |
| 21 | 日 | |
| 22 | 月 | |
| 23 | 火 | |
| 24 | 水 | |
| 25 | 木 | 5の付く日（スタンド店頭ガソリン・軽油5円引き） |
| 26 | 金 | |
| 27 | 土 | |
| 28 | 日 | |
| 29 | 月 | |
| 30 | 火 | 決算棚卸のため資材午後休業 |
| 31 | 水 | 決算棚卸のためスタンド・資材休業 |

## 2024年 2月の予定

| | | |
|---|---|---|
| 1 | 木 | |
| 2 | 金 | |
| 3 | 土 | |
| 4 | 日 | |
| 5 | 月 | 5の付く日（スタンド店頭ガソリン・軽油5円引き） |
| 6 | 火 | |

## 理事会の動き

### 第16回 理事会　日程：令和5年12月25日（月）

【議決事項】

議案1号　8月末定例監査の回答について
議案2号　11月末決算推定について
議案3号　冬期合同『農協懇談会』の意見および回答（案）について
議案4号　令和5年産東川米総括と最終精算について
議案5号　理事者との利益相反取引について
議案6号　決算減損会計に関するグルーピング方針について
議案7号　農家経済対策について

## お世話になりました　令和5年12月31日付退職

営農販売部 営農指導課 東川農業振興公社出向
**石若 康範**

この度、令和5年12月31日をもちまして東川町農業協同組合を退職させて頂きました。

入組以来、組合員の皆さまをはじめ農協役職員の皆さまには、ご指導ご鞭撻を頂いたことに心から感謝申し上げます。

今後は、これまでの経験を人生に活かしていきたいと思っております。

最後になりますが、皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げ、お礼のご挨拶とさせていただきます。今までお世話になりました。

管理部 経理課
**橋本 麻佑子**

この度、令和5年12月31日をもちまして東川町農業協同組合を退職させて頂きました。

平成29年に入組以来、組合員の皆さま、農協役職員の皆さまにはたくさんのご指導をいただき、約7年間職務を全う出来たことに心から感謝申し上げます。

今後はこれまでに学んだこと、経験を活かし、さらに成長できるよう今後の人生を学んでいきます。また東川米・東川サラダの美味しさや東川町の魅力を周囲に広め、微力ながら東川町に貢献していきます。

最後になりますが、東川町農協と組合員の皆さまの益々のご繁栄とご多幸を祈念し退職の挨拶とさせていただきます。

金融共済部 共済課
**稲場 葵**

この度、令和5年12月31日をもちまして東川町農業協同組合を退職させて頂きました。

組合員の皆さま、また農協役職員の皆さまには短い間でしたが、ご指導ご鞭撻を頂いたことに心から感謝申し上げます。

今後は、この1年9カ月で学んだことを活かすことができるよう努めてまいります。

最後になりますが、東川町農協の益々のご発展と組合員の皆さまのご健勝とご多幸を祈念し、退職の挨拶とさせていただきます。今まで本当にありがとうございました。

## おしらせ

東川米新米まつり「東川米ポスター展」の作品を展示しています！

JAひがしかわ本部事務所2階ホールにて展示していますので、ご自由にお立ち寄りください！

**期間：令和6年3月29日（金）まで**

●葬儀・法要のご用命は…24時間フリーダイヤル

JA事業推進係　0120－82－2125へ

〒071-1495　北海道上川郡東川町西町1丁目5番1号　TEL0166-82-2121　発行所/東川町農業協同組合　責任者/牧　清隆　編集者/営農販売部　営農指導課